

石破首相 辞任意向

総裁選前倒し要求拡大

政権運営立ちゆかず

石破茂首相（自民党総裁）は7日、辞任の意向を固めた。複数の政権幹部が明らかにした。参院選大敗を受け、閣内を含む党所属国会議員や地方組織に総裁選前倒し要求が広がり、政権運営が立ちゆかなくなると判断した。自民は早期に総裁選を実施し、後任選出を急ぐ。

首相は7月の参院選大敗 行を理由に続投方針を堅持 ても当面の続投意向を表明 員から書面の提出を受け、直後「政治空白をつくるべ した。 都道府県連の要求と合わせ

きではない」と続投を表明。 アフリカ開発会議（TII 一方、自民は総裁選前倒 7月28日の両院議員懇談会 CAD）や、韓国大統領の しのは是非を判断するため党 と8月8日の両院議員総会 来日など外交日程にも取り 内手続きに着手。8日に前 で、日米関税交渉合意の実 組み、9月2日の両院総会 倒しを求める党所属国会議



自民党の両院議員総会後、記者団の取材に応じる石破首相＝2日、首相官邸

「ポスト石破」候補には、 昨年の総裁選で首相と決選 投票を争った高市早苗前経 済安全保障担当相や小泉進 次郎農相、小林鷹之元経済 安保相、林芳正官房長官ら の名前が取り沙汰されてい る。

閣僚経験者や副大臣、政 務官から前倒し要求が相次 ぎ、臨時総裁選の実施に必 要な過半数に達するとの見 方も出ていた。首相経験者 の麻生太郎最高顧問や、石 破内閣の鈴木馨祐法相も前 倒しに賛成すると表明し た。